

山口大学 大学研究推進機構 先進科学・イノベーション研究センター
中高温微生物研究センター（大学院創成科学研究科工学系学域応用化学分野）
教員（生物化学系）の公募について

1. 公募の内容

- (1) 職 名 助教
- (2) 人 数 1名（2023年1月1日の年齢が40歳未満）
- (3) 所 属 大学研究推進機構先進科学・イノベーション研究センター
中高温微生物研究センター
主業務施設：常盤キャンパス
(大学院創成科学研究科工学系学域応用化学分野)
- (4) 専門分野 広い意味での生物化学分野。例えば、発酵工学、遺伝子工学、タンパク質工学、酵素化学、生体分子化学など
- (5) 職務内容
- ・生物化学および関連する化学分野の深い知識に基づき、化学的、生物化学的な分析及び計測手法を用いた、微生物に関する分子レベル、細胞レベルの基礎研究及び応用研究
 - ・生物化学等に関連する工学部応用化学科の学生実験、演習、卒業研究指導、及び大学院創成科学研究科化学系専攻学生の研究指導等の教育研究業務
 - ・共通教育科目の教育業務
 - ・各種委員会委員、及び、その他の業務等
- (6) 任 期 5年（審査により1回限り再任可）

2. 応募要件

- ①博士の学位を有する方、または、着任までに博士の学位を取得見込みの方。
 - ②生物化学分野における研究経験があり、化学的な知識・経験に基づいて、微生物や細胞における分子としてのタンパク質、酵素、ペプチド、糖質、脂質等の機能解析やその応用（機能改変、機能開発、物質生産）に関する研究に意欲的に取り組める方。生物化学分野のフロンティアの開拓に意欲のある方を期待します。
 - ③中高温微生物研究センター所属教員と連携して、SDGsに貢献する研究など、積極的に共同研究を行える方。
 - ④生物化学系教員をはじめとする応用化学科教員と連携した研究にも積極的に取り組める方。
 - ⑤工学部応用化学科及び大学院創成科学研究科化学系専攻の教育研究に意欲的に取り組める方。
- *中高温微生物研究センター及び工学部応用化学科についてはホームページを参照して下さい。

センター : <https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yurctmr/>

応用化学科 : <http://www.chem.yamaguchi-u.ac.jp/>

3. 待遇 給与等雇用条件は、本学の規則による。年俸制を適用する。

4. 採用予定時期

2023年1月1日以降のできるだけ早い時期

5. 応募の期限

2022年10月3日(月)17:00必着

6. 提出書類

- 1) 履歴書(写真を添付し、連絡先(住所、電話番号、E-mailアドレス)を明記のこと)
- 2) 研究業績(原著論文、総説、著書、国際会議論文、学会発表、特許、外部研究費取得状況、その他に分けて記載すること)
- 3) 代表論文3編以内の別刷またはコピー
- 4) 現在までの研究の概要(2,000字程度)
- 5) 今後の研究・教育に対する抱負。(2,000字程度)
- 6) その他参考となる資料(学会活動、教育経験、受賞など)
- 7) 応募者について照会できる方2名の氏名、所属と連絡先(電話番号、E-mailアドレス)

7. 選考方法

書類選考のうえ、対面またはオンラインでの研究発表(質疑応答を含む)、および選考面接を実施します。

なお、対面で研究発表・面接を実施した場合の旅費は、自己負担となります。

8. 応募書類の提出先及び照会先

(1) 応募書類の提出先

〒755-8611 山口県宇部市常盤台二丁目16-1

山口大学大学院 創成科学研究科 化学系専攻主任 酒多 喜久

TEL (0836) 85-9681

E-mail yoshi-sa@yamaguchi-u.ac.jp

(応募は「山口大学大学院創成科学研究科(助教)応募書類在中」と朱書し、簡易書留等受領の確認ができる郵便または宅配便で送付願います。なお、応募書類は返却せず、選考終了後、当方の責任で廃棄します。)

(2) 照会先

9. その他

- (1) 応募に係る個人情報、個人情報保護法に基づいて適切な取り扱いをします。
- (2) 山口大学は、男女共同参画を推進しており、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、女性を積極的に採用します。
- (3) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しています。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

- (4) 2023年1月1日の年齢が40歳未満の若手研究者を採用します。これは国の施策である「第6期科学技術・イノベーション基本計画」において掲げられている目標値の達成のため、労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律施行規則第1条の3第1項第3号ニに該当するものとして実施します。

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供するサービスを受けることができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索

山口大学 ダイバーシティ